

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよい まちづくり	②臨海部	4	市民に親しまれる港湾づくり

事業名	港湾振興対策事業(港湾エリア活性化事業補助金)	担当課名	地域経済課
-----	-------------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
泉大津市内にある海側のエリアにおいて、地域の多様な主体が本市のまちづくりと一体となって活性化に取り組む事業に対し、補助金を交付することにより、魅力ある空間を創出し、市内外から交流人口の促進を図る。
(事業概要等)
民間事業者等が取り組む「にぎわいを創出するイベント事業」及び「にぎわいを創出する施設整備事業」に対し補助金の交付を行う。補助率及び金額については、「にぎわいを創出するイベント事業」が補助対象経費の2分の1以内(1事業の限度額は100万円)、「にぎわいを創出する施設整備事業」が補助対象経費の4分の3以内(次年度以降は2分の1)とし予算の範囲内で交付する。

【事業費】

項目/年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,000	8,065	3,531	30,000	
うち市負担分(千円)	1,000	8,065	3,531	30,000	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
申請件数	件	1	3	2	3
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
汐見公園にてキャンプイベントを実施。キャンプ体験やテントサウナ体験、キャンプファイヤーなど、汐見公園の特性を生かしたコンテンツを造成し、キャンプ体験は完売するなど、約600人の参加があった。また、なぎさ公園NGRILLIにてトイレの改修を行い、合わせて音楽スピーカー6機の取り換えとキッズエリアの平均台及びシーソー各1台を設置。トイレの改修による清潔面の改善、また、機材更新等による設備の充実など、利用者の満足度が向上した。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	「にぎわいを創出する施設整備事業」について、補助対象経費に「トイレ・シャワーなど設備のリース費用」を追加し、補助率を初年度は補助対象経費の4分の3以内、次年度以降は2分の1とし、限度額を廃したうえで、予算の範囲内において交付することとした。
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	対象エリアのインフラが未整備であり、土地所有者である大阪港湾局がインフラ整備の方向性や条件を示していないため、当該地に興味を持つ事業者があっても事業実施に向けた検討に時間がかかる状況である。また、集客の見込みが不透明な中で初期投資が多額となるため、事業を開始するにあたっては慎重になり事業開始に至らない。
--------	--

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	B 改善し継続
上記評価理由および今後の方向性	令和6年度からは助松埠頭先端緑地も対象地域に設定して更なる支援の充実を図り、港湾エリア活性化に資する事業の誘致を進める。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	②臨海部	4	市民に親しまれる港湾づくり

事業名	港湾振興対策事業(清掃業務委託事業)	担当課名	地域経済課
-----	--------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	港湾地区内の緑地、緑道及び歩道の景観について、常に良好な環境を維持する。
(事業概要等)	緑地(泉北4区)、小松緑道(泉北5区)、助松緑道(泉北6区)、汐見緑道(泉北7区)において清掃を行う。

【事業費】

項目/年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,043	2,216	2,333	2,415	
うち市負担分(千円)	2,043	2,216	2,333	2,415	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
清掃実施回数	回	77	79	79	79
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
各港湾地区の不法投棄ごみの量に応じた清掃回数を実施したことにより、緑道・歩道の良好な環境を維持できた。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	現在、シルバー人材センターを活用し、港湾地区の緑道・歩道の美化に努めているが、当該地区においては、日常的に不法投棄やごみのポイ捨てなどが多くみられるため、利用者の美化意識の醸成に向けた意識啓発が必要である。
--------	---

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	港湾地区内の緑道・歩道は市民がジョギングや散歩をするコースであり、常に良好な景観を維持する必要がある。 また、港湾地区は不法投棄ごみが非常に多いため、今後も清掃業務が必要である。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	1	地域産業の振興

事業名	地域産業振興対策事業(泉大津未来ビジョン事業)	担当課名	地域経済課
-----	-------------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
泉大津の将来に向け、未来を担う子供たちの健全な育成と、豊かな市民生活の実現を目的として開催する「泉大津未来ビジョン」を充実させ、「繊維のまち・泉大津」をPRする。
(事業概要等)
泉大津未来ビジョンにおいて実施する「毛布・ニット謝恩セール」などの各行事に対して補助支援を行う。 ○商連わいわいフェスタ ○毛布謝恩セール ○ニット謝恩セール ○おづみんフェスタ ○泉大津マルシェ

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,515	4,000	3,904	4,000	
うち市負担分(千円)	3,515	4,000	3,904	4,000	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
未来ビジョンが実施した補助対象事業数	件	5	5	5	5
支援を行った事業への参加者数	人	11,670	15,515	18,092	19,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
ここ数年はコロナ禍での開催となり、感染対策に重きを置く事業展開となったが、数年ぶりに行動制限のない中での開催となり、各事業ともに集客や事業内容に力を注ぐことができ、コロナ前に匹敵する集客となった。それぞれの事業が好評を博し、いずれの事業も大阪府下に浸透した事業として、賑わいを見せた。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	
--------	--

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	本事業は、泉大津市全域にわたり実施される事業であり、「繊維のまち・泉大津」を市内外にPRでき、まちの活性化を図ることができる事業であるため。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画の位置づけ	政策名 ⑥誇れる・選ばれる・集えるまちづくり	基本施策名 ①商工業	NO 1	施策の展開方向 地域産業の振興
--------------	---------------------------	---------------	---------	--------------------

事業名	地域産業振興対策事業(染色整理業活性化補助金)	担当課名	地域経済課
-----	-------------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
本市の地域産業である繊維産業に密接に関連する染色整理業の振興を図るため、染色整理事業者で構成される大阪毛布毛織物等染色整理工業協同組合が行う染色整理業の振興を図るための取組みを支援し、地域産業の振興に資する。
(事業概要等)
大阪毛布毛織物等染色整理工業協同組合が染色整理業の振興を図るために行う取引条件の改善に寄与する事業及び各事業者が地域産業基盤安定化事業として実施する構造改善のための取組みに関する指導等の取組に対する補助を行う。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	140	130	140	130	
うち市負担分(千円)	140	130	140	130	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
(指標を設定できない理由)					
年度ごとに事業内容が変わるため、指標を設定することが困難。					
(成果の概要)					
染色整理加工事業者の加工技術研修、取引慣行改善に取組み、業界のサプライチェーン維持活性化を図った。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	
--------	--

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	地域産業である繊維産業に密接に関連する染色整理業の振興を図るため、大阪毛布毛織物等染色整理工業協同組合が実施する事業に対し、引き続き支援を行う。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	1	地域産業の振興

事業名	地域産業振興対策事業	担当課名	地域経済課
-----	------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
本市地域経済の重要な位置を占める繊維関連産業における販路開拓、新商品・新技術の開発のための取組みを支援し、もって地域産業・経済の発展に資する。

(事業概要等)
地域産業関連諸団体や地域産業を主たる事業とする地域グループが行う地域製品の展示会等への出展事業やビジネスマッチング事業、海外への販売促進活動事業など地域産業振興にかかる「販路開拓事業」や、大都市圏での展示会等に向けて行う新商品・新技術等の研究開発事業や調査研究事業、異業種交流など地域産業振興に係る「新商品・新技術事業」に対して補助を行う。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	5,971	5,671	6,197	7,882	R5,6年度はふるさと 応援基金充当
うち市負担分(千円)	5,971	5,671	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
補助事業者数	件	5	5	4	5

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)
地域産業関連諸団体や地域産業を主たる事業とする地域グループが行う地域製品の展示会等への出展事業やビジネスマッチング事業、海外への販売促進活動事業、オンラインを活用した販路開拓など地域産業振興にかかる「販路開拓事業」や、大都市圏での展示会等に向けて行う新商品・新技術等の研究開発事業や、調査研究事業、異業種交流などの「新商品・新技術事業」に対し支援し、地域産業・経済の発展に資することができた。

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	
--------	--

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	販路開拓事業では「繊維のまち・泉大津」のPRが、新商品開発事業では展示会において成果が出ており、今後も事業の拡大及び成果が期待できる。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集えるまちづくり	①商工業	2	地域ブランドの活用と確立

事業名	織編エッセイ賞事業	担当課名	地域経済課
-----	-----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
国内生産の約9割を占める毛布をはじめ、ニット製品や毛織物を生産する「繊維のまち・泉大津」を全国へPRすることにより、地域産業の活性化を図る。
(事業概要等)
衣服や繊維製品にまつわる思い出や感動したことなど、“繊維製品”に触れる内容のエッセイを広く公募する。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,968	1,879	2,159	2,348	
うち市負担分(千円)	1,768	1,679	1,959	2,148	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
「泉大津市オリアム随筆賞」応募件数	件	342	281	243	300
「文学フォーラム及び表彰式」来場者数	人	41	53	80	100
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
関西を代表する著名人が選考委員を務めるオリアム随筆賞(衣服や繊維製品にまつわる思い出や感動したことなど、“繊維製品”に触れる内容のエッセイ)を実施し、国内生産の約90%を占める毛布をはじめ、ニット製品や毛織物を生産する「繊維のまち・泉大津」を全国へPRすることができた。 令和5年度は、選評内容については選考委員と受賞者の対談形式で行い、その後、選考委員によるエッセイについてのパネルディスカッションを実施した。					

【事業の見直し】

R4年度からの変更点・改善点	新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」に移行したことを受け、文学フォーラムの事前申し込み制を撤廃し、定員数もコロナ前の500人まで可能とした。
----------------	---

【事業の課題】

課題・問題点	より効果的な広報活動を実施し、応募者数及び文学フォーラムにおける来場者数を増加させることにより、本市の知名度を上げ、地域の活性化を図る必要がある。また、泉大津市民の応募が少ないことから、本事業への市民の認知度を上げ、多くの方に参加いただくことにより、市民に対しても「繊維のまち・泉大津」をPRしていく必要がある。
--------	--

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	B 改善し継続
上記評価理由および今後の方向性	泉大津市民からの作品応募が少数であり、市民の認知度を上げ、応募者数を増やす必要がある。泉大津市の図書館等と連携し、エッセイ教室、セミナーなどを開催し、市民への周知と応募者数の増加を図る。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	2	地域ブランドの活用と確立

事業名	泉大津プロモーション事業	担当課名	地域経済課
-----	--------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	泉大津市の知名度を上げ地域の活性化を図るため、行政と産業界が一体となって市のPRを行う。
(事業概要等)	市のPRのため、野外コンサート会場や全国各地のイベントなどでのシティプロモーションの実施や、泉大津駅におけるイルミネーション事業、特産品PR等の事業を展開する。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	5,700	5,700	12,935	9,450	ふるさと応援基金 充当
うち市負担分(千円)	3,500	1,300	0	6,950	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
(指標を設定できない理由)					
市のPR活動を目的としているため。					
(成果の概要)					
泉大津市立図書館内の特産品直売所「CO-ON」や駅前商業施設内での特産品販売、全国の展示会に出展するなどを通して繊維のまち泉大津を市内外にPRすることができた。 市の繊維をはじめとする地元産業振興の拠点であり、市内外の利用者の多いテクスピア大阪のエントランスの壁に泉大津市出身の木村英輝氏に泉大津市をイメージする壁画を書いていただき、市を象徴する新たなスポットを創出し、当該施設の価値・魅力を高めるとともに、シビックプライドの醸成が図れた。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	
--------	--

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	新たな事業を含め、「繊維のまち・泉大津」のPR事業等を展開することができた。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名 ⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	基本施策名 ①商工業	NO 2	施策の展開方向 地域ブランドの活用と確立
------------------	-------------------------------	---------------	---------	-------------------------

事業名	日本一の毛布のまちPR事業	担当課名	地域経済課
-----	---------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
本市の特産品である毛布の製造、または販売する事業者の振興、ならびにその特産品のPRによる産業振興を図る。

(事業概要等)
特産品のPRによる産業振興を図るため、本市内の空き店舗等を利用し、特産品のPRかつ販売をする事業に対し支援を行う。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	200	200	200	200	
うち市負担分(千円)	200	200	200	200	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
空き店舗等を利用し、販売活動を実施した回数	回	8	8	8	8

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)
本市の特産品である毛布のPRを行い、本市内も含む全国へ「日本一の毛布のまち泉大津」をアピールすることができた。

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	
--------	--

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	本市の特産品である毛布のPRを行い、「日本一の毛布のまち泉大津」を広くアピールすることができた。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	3	産業の担い手となる人材の育成と確保

事業名	産業振興対策事業(キッズフリマ事業)	担当課名	地域経済課
-----	--------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
子どもの金融リテラシー、リユース意識、コミュニケーション能力を向上させ、泉大津市内で将来的に創業者となる人材の育成及び機運向上を図ることを目的とする。
(事業概要等)
売り手及び買い手も全て子どもだけで行うフリーマーケットを開催する。出店社となる子どもは開催前に簡単な収支表の作成等のレクチャーを受け、物の売り買いを通してお金の扱い、経済について学ぶとともに、子どもの自主性と自立を育む機会を作る。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	-	-	1,980	1,980	ふるさと応援基金 充当
うち市負担分(千円)	-	-	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
応募総数	人	-	-	169	180
総来場者数	人	-	-	3,201	3,500
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
シーパsparkにて7月と11月に開催。売るのも買うのも子どもだけで行うフリーマーケットの経験を通して、キャリア教育の視点を踏まえた金融リテラシーの獲得、起業マインドを持つ人材の育成、リユース意識の醸成、子どもたちが自分で考えて行動する自主性の育みを図ることができた。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	
--------	--

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	本事業は、子どもの金融リテラシー、リユース意識、コミュニケーション能力を向上させ、泉大津市内で将来的に創業者となる人材の育成及び機運向上を図ることができる事業であるため。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	5	新規産業の創出と育成

事業名	産業振興対策事業(会社設立支援事業補助事業)	担当課名	地域経済課
-----	------------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
市内における創業・起業を促進することにより、本市の更なる地域産業の活性化を図るため、本市内に本店を置く会社等(株式会社、合名会社、合資会社又は合同会社)を新たに設立する者に対する設立時の経済的支援事業を行う泉大津商工会議所に対し補助金を交付する
(事業概要等)
会議所を申請窓口とし、本市内に本店を置く会社等を新たに設立する事業者の定款作成に係る設立当初の経済的負担を支援することにより、本市内における創業、起業を促進する。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	456	353	359	780	R4年度はふるさと 応援基金充当
うち市負担分(千円)	456	0	359	780	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
補助事業者数	社	10	7	9	10
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
初めて創業・起業する事業者や個人事業主からの法人化する事業者の経済的負担を支援することができ、今後の円滑な事業運営に寄与することができた。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	
--------	--

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	引き続き本事業を実施することで、本市における創業者の支援につながると考える。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	5	新規産業の創出と育成

事業名	産業振興対策事業(創業支援事業)	担当課名	地域経済課
-----	------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
産業の活力を維持し、より一層発展していくため、泉大津商工会議所が行う市内での創業促進のための取組みなどを支援し、市内産業の振興に資する。
(事業概要等)
泉大津商工会議所が創業促進のために実施する創業セミナーや市内開業者への設備補助等の取組みに対する支援を行う。

【事業費】

項目/年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	906	758	825	1,355	ふるさと応援基金 充当
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
創業セミナーの参加者数	人	19	21	18	30
設備補助事業者数	件	13	10	10	15
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
泉大津商工会議所が行う創業支援事業に対し、市内開業者の振興を図ることができた。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	創業希望者に対する創業しやすい環境づくりなどの支援が必要である。また、設備補助の取組みは商工会議所の会員限定で実施している支援メニューとなり、全事業者を対象としていないという課題がある。
--------	---

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	B 改善し継続
上記評価理由および今後の方向性	引き続き、市内での創業・起業の促進を図るため、泉大津商工会議所が実施する活性化事業に対し支援を行う一方で、商工会議所の会員限定で実施している支援メニューは全事業者対象となるように対策を講じる。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	5	新規産業の創出と育成

事業名	産業振興対策事業(創業支援補助金事業)	担当課名	地域経済課
-----	---------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
本市内で新たに創業する者に対し支援を行うことにより、本市の更なる地域産業の活性化や新たな雇用創出を引き出す。
(事業概要等)
本市の更なる地域産業の活性化や新たな雇用創出を引き出すため、本市内の空き家及び空き店舗等を活用し、新たに創業する者に対し家賃補助を行う。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	540	350	1,872	9,000	R3、R4、R5はふるさと応援基金充当のため
うち市負担分(千円)	0	0	0	9,000	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
支援事業者数	社	7	5	10	20
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
本市市内で新しく事業を始める事業者に対して、初期投資を軽減させるための家賃補助を行い、本市内の起業を促進させることができた。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	対象要件の緩和及び支援内容の拡大を行い、創業・起業の促進及び創業時のスタートアップ支援を強化を実施。(空き店舗等の条件の撤廃、テナントビルでの創業も対象に、補助金の上限額、補助対象期間の拡大)
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	
--------	--

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	引き続き、市内での起業を促進するため継続して取り組む。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	5	新規産業の創出と育成

事業名	産業振興対策事業(中小企業事業資金融資関連事業)	担当課名	地域経済課
-----	--------------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
市内中小企業者の経営の安定と振興を図るため、中小企業信用保険法に基づく大阪府制度融資に関する業務及び利子補給等の関連業務を行い、市内産業の振興に資する。

(事業概要等)
市内中小企業者に対し、中小企業信用保険法に基づく大阪府中小企業事業資金融資のあっせん及び特定中小企業者の認定等の業務を行うとともに、長引く経済不況による影響に対処するため、市内中小企業者が必要とする事業資金の借入金に対し、利子の一部を補給する中小企業事業資金利子補給制度を実施する。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	612	474	391	1,000	
うち市負担分(千円)	612	474	391	1,000	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
利子補給件数	件	58	47	43	50

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)
市内中小企業者が必要とする事業資金の借入金に対し、利子の一部を補給することにより、市内中小企業者の経営の安定と振興を図ることができた。

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	市内にある全ての事業者を把握することは困難で、制度自体のより一層の広報・周知が必要である。
--------	---

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	本事業のうち、大阪府制度融資に関する業務及び利子補給については、原則的にこれまでの体制を継続する。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	6	商業・サービス業の振興

事業名	産業振興対策事業(産業活性化事業)	担当課名	地域経済課
-----	-------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	本市の商業の発展及び振興を図るため、各種団体が自ら主体となって行う活性化事業に支援を行い、市内商業の活性化に資する。
(事業概要等)	商店街の空き店舗を活用した事業や、商店街の来街者増加に向けた各種イベント事業に対し、支援を行う。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,775	3,521	3,362	4,702	R6年度はふるさと 応援基金充当
うち市負担分(千円)	2,775	3,521	3,362	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
補助団体数	団体	3	3	3	3
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
商店街の空き店舗を活用し、カルチャー教室を開催する等、地域消費者の利便性向上や来街者増加から、市内商業の振興を図ることができた。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	
--------	--

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	引き続き、商業の発展及び振興を図るため、商業関係団体が実施する商業活性化事業に対し支援を行う。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	6	商業・サービス業の振興

事業名	産業振興対策事業(インバウンド等受入環境整備補助金事業)	担当課名	地域経済課
-----	------------------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
2025年大阪・関西万博の開催に伴い、外国人観光客の増加が期待される中、事業者におけるインバウンド等の受入体制を強化することにより、市内でのインバウンド等による消費を促進し、更なる地域産業の活性化を図ることを目的とする。
(事業概要等)
インバウンド等の受入体制の強化に取り組む事業者に対し、その整備に係る経費の一部を補助することで、本市内でのインバウンド等による消費を促し、地域経済の活性化を図る。

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	-	-	138	4,000	ふるさと応援基金 充当
うち市負担分(千円)	-	-	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
支援事業者数	社	-	-	1	10
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
本市市内でインバウンド等の受入体制の強化に取り組む事業者に対して、その整備に係る経費の一部補助を行い、商業・商工業の発展、振興を図ることができた。(令和5年12月から本補助金開始)					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	
--------	--

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	引き続き本事業を広報し、実施することで、本市の事業者におけるインバウンド等の受入体制強化につながると考える。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	6	商業・サービス業の振興

事業名	産業振興対策事業(キャッシュレス推進支援事業)	担当課名	地域経済課
-----	-------------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	本市の事業者・商工業者の活性化を図るため、キャッシュレス決済の環境整備を支援し、市内商業・商工業の振興に資する。
(事業概要等)	市内のキャッシュレス決済対応端末の導入などのインフラ整備を進める事業者に対し、費用の一部を助成するなど、キャッシュレス推進支援を行う。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	76	60	175	-	ふるさと応援基金 充当
うち市負担分(千円)	0	0	0	-	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
キャッシュレス決済端末導入支援件数	件	2	2	4	-
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
泉大津商工会議所が市内の事業者・商工業者のキャッシュレス推進を図るために実施した取組み(キャッシュレス決済端末や周辺機器の導入費用を助成)を支援し、商業・商工業の発展、振興を図ることができた。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	キャッシュレス推進を図るために実施した取組みは商工会議所の会員限定で実施している支援メニューとなり、全事業者を対象としていないという課題がある。
--------	--

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	D 休止・廃止
上記評価理由および今後の方向性	市が実施するインバウンド等受入環境整備補助金事業内でキャッシュレス決済端末導入整備のメニューを含むことで全事業者対象とする。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	①商工業	6	商業・サービス業の振興

事業名	産業振興対策事業(販路開拓事業)	担当課名	地域経済課
-----	------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
市内の事業者・商工業者の活性化を図るため、泉大津商工会議所が行う、新規顧客獲得のための販路開拓事業に関する取組みなどを支援し、市内商業・商工業の振興に資する。
(事業概要等)
市内の事業者・商工業者の新規顧客獲得のために泉大津商工会議所が実施する集客イベントなど、販路開拓に関する取組みなどへの支援を行う。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,769	3,675	3,648	3,815	ふるさと応援基金 充当
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
(指標を設定できない理由)					
年度ごとに事業内容が変わるため、指標を設定することが困難。					
(成果の概要)					
泉大津商工会議所が市内の事業者・商工業者の販路開拓を図るために実施した取組みを支援し、商業・商工業の発展、振興を図ることができた。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	
--------	--

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	引き続き、市内の商業・商工業の発展及び振興を図るため、泉大津商工会議所が実施する活性化事業に対し支援を行う。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	③農業・漁業	1	次世代経営者への経営環境の提供

事業名	団体等育成支援事業	担当課名	地域経済課
-----	-----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
泉大津漁業協同組合と協力して、良好な漁業環境の整備を行い、安全操業の確保および漁業従事者の維持を図ることにより、市民が漁業への理解を深め、親しみやすい漁港環境を整える。
(事業概要等)
泉大津漁業協同組合が行う港内及び周辺地域の清掃・漁場の監視・漁業情報の収集等を行い水産振興対策運営事業に対して補助金を交付する。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	267	267	267	267	
うち市負担分(千円)	267	267	267	267	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
年間港内・漁場清掃回数	回	12	12	12	12
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
港内清掃及び漁場の整備・監視等により、漁業の維持管理を図ることができた。また、漁業協同組合と立ち上げた水産業再生委員会において、今後の漁業経営の安定化に向け策定を行ったプランの実施に努めている。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	漁業経営の安定化に向けて、泉大津市と泉大津漁業組合で構成する水産業再生委員会で策定を行った「浜の活力再生プラン」の実施に関して、事業を展開していく必要がある。
--------	---

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	漁業環境の整備によって、安全操業の確保や漁業従事者の維持を図るとともに、今後「浜の活力再生プラン」の実施により一層の漁業の活性化を進める必要がある。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	③農業・漁業	1	次世代経営者への経営環境の提供

事業名	農地対策事業	担当課名	地域経済課
-----	--------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
地域の農業振興のために欠かすことのできない農業用ため池の保全を行う。また、ため池の適正な維持管理のために管理者である水利組合に必要な支援を行う。
(事業概要等)
ため池での事故等を未然に防ぐために安全対策を講じるとともに、景観等の維持のために水利組合と共同で除草等を行い、適正なため池管理を行う。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,180	1,181	1,180	1,185	除草に関して水利 組合負担分あり
うち市負担分(千円)	2,015	1,016	1,015	1,020	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
草刈日数	日	15	15	11	11
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
ため池堤体の除草を行うことで、池の景観形成につながった。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	
--------	--

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	農業用水源としてのため池の保全等、維持管理に努めるとともに、ため池景観の維持に努める。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集える まちづくり	③農業・漁業	2	地産地消の推進と安全安心な食の提供の推進

事業名	経営所得安定対策等推進事業	担当課名	地域経済課
-----	---------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
営農者に対して、国が推進する経営所得安定対策等推進事業を行う泉大津市農業再生協議会の運営を支援する。
(事業概要等)
泉大津市農業再生協議会の運営及び、同協議会が行う経営所得安定対策等推進事業や地域農業振興事業、担い手育成事業に対して助成を行う。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	329	308	343	458	
うち市負担分(千円)	2	1	10	119	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
交付申請者数	人	7	7	7	7
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
事業の活用により、営農者の農業経営の安定化が図られた。					

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	農業担い手の高齢化や後継者不足により、農地の宅地化が進行しているため、より効果的な農業の安定対策についてJAいずみのと協議が必要である。
--------	--

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	市域全体が市街化区域であり、今後においても厳しい営農環境が想定されることから、今後も安定した農業経営対策は必要である。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑥誇れる・選ばれる・集えるまちづくり	③農業・漁業	2	地産地消の推進と安全安心な食の提供の推進
事業名	農業振興対策事業		担当課名	地域経済課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

市内全域が市街化区域であり、営農世帯や農地等は減少傾向にあるが、農地は地元産野菜の栽培を通じた地産地消の推進以外にも緑地機能や防災機能も有することから、積極的に保全していく必要がある為、都市農業の振興や営農改善のために支援を行う。

(事業概要等)

都市農業の振興や営農改善のために、JAいずみのが主体で行う農作物契約栽培事業及び花と緑の推進事業並びに営農改善対策事業に対して補助金を交付する。また、大阪エコ農産物の認証を受けた農業者に対して支援を行う。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	800	820	986	1,163	R5、6年度はふるさと応援基金充当
うち市負担分(千円)	800	820	820	820	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
水稻作付面積	ha	12	12	12	12
農業まつり来場者数	人	-	-	2,402	3,000
景観形成作物作付面積	ha	2	2	2	2
エコ農産物補助件数	件	-	-	4	4

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

厳しい農業環境のなか、一定の作付面積の確保を図ることができた。また、休耕田にレンゲやコスモスを栽培し、オープンスペースの景観形成を行い、都市景観の向上につながった。
毎年秋にJAいずみのが主催する農業まつりについては、地域で生産された米や野菜の販売支援を行い、地産地消を推進するとともに都市農業の振興やPRを行った。
エコ農産物補助件数については、環境に配慮した農業を行う農家に対して支援することができた。

【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	
--------------------	--

【事業の課題】

課題・問題点	農業担い手の高齢化や後継者不足により、農地の宅地化が進行しているため、より効果的な農業振興対策についてJAいずみのと継続協議が必要である。
--------	---

【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	市域全体が市街化区域であり、今後においても厳しい営農環境が想定されることから、今後も都市農業の振興や営農改善対策は必要である。